

スズキ目カワアナゴ科

## カワアナゴ

*Eleotris oxycephala* Temminck and Schlegel, 1845

### 【選定理由】

近年その生息が確認された。島根県西部での初確認後、徐々に県東部での確認事例も増加し、県内全域で生息域が拡大している可能性もあるが、なお詳細な調査が必要である。

### 【概要】

全長20-30cmほど。ハゼ類に似るが、腹びれは吸盤状ではなく左右に分離。頭部が大きく、下面には白い斑点が散在する。体色の変化が著しい。茨城県以南の本州太平洋側や、四国、九州、屋久島、および福井県から鹿児島にかけての日本海、東シナ海沿岸の河川に生息する。

## 島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：-

環境省：-

写真 口絵10

比較的大きな河川の下流部域から河口域に棲み、日中は石や倒木の空隙に潜んでおり、おもに夜間に活動する。

### 【県内での生息地域・生息環境】

2000年に益田川下流部で初めて確認された後、江川下流部でも確認。その後2010年には高津川および斐伊川水系、2011年に大社堀川水系、2013年に斐伊川水系で生息が確認されている。河川の下流部の流れの緩やかな淡水域や汽水域に生息する。

### 【存続を脅かす原因】

生息環境の悪化など。